

冠水情報即時に伝達

美波で近く実証実験

徳島市の建設コンサルタ
ント会社「ニタコンサルタ
ント」と徳島大環境防災研
究センターでつくる研究チ
ームが、路上などに設置し
た小型センサーを使ってリ
アルタイムで冠水情報を収
集・伝達するシステムの開
発を進めている。大雨や台
風の際に雨水が市街地に流
れ込む「内水氾濫」の状況
を把握し、被害防止や住民
の避難に役立てる。近く美
波町で実証実験を始める。

美波町での実証実験で
は、道の駅日和佐近くのア
ルタイムで冠水情報を収
集・伝達するシステムの開
発を進めている。大雨や台
風の際に雨水が市街地に流
れ込む「内水氾濫」の状況
を把握し、被害防止や住民
の避難に役立てる。近く美
波町で実証実験を始める。

ニタコンサルタントと徳
島大は昨年、センサーを開
発した。今後は実証実験か
ら得たデータや気象庁の短
時間降水予報などを活用
し、数時間後の浸水域を予
測するシステムの開発も検
査している。

徳島市のコンサルと徳島大

センサー使い状況把握

討している。

ニタコンサルタントの安
比他の地域でも実験し、地
芸浩資常務取締役(52)は
「避難にはリアルタイムの
情報を『見える化』するこ
とが大事。協力が得られ
ば他の地域でも実験し、地
芸浩資常務取締役(52)は
元企業として貢献したい」
と話している。

(中野愛子)



水槽内の冠水センサーを水につけ、モニターに情報が表
示されるか確認する担当者＝徳島市沖浜東のニタコン
サルタント沖浜オフィス